

hp HPTCJ ニュース・レター **Newsletter** 2023.10 Vol.27 No.3 **113**

「ヒートポンプ・蓄熱月間」活動報告

冷房需要が本格化する毎年7月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、各省庁・関係諸団体のご後援・ご協賛のもと、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に活動を展開しました。

期間中には、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大にご貢献いただいた企業・団体への感謝状(盾)の贈呈、有識者による蓄熱・ヒートポンプのスマート空調システムの最新技術などに関するセミナーやヒートポンプ・蓄熱システムの採用により大幅な省エネルギーを実現された先進的な導入事例を対象としたセミナー&施設見学を実施しました。

また、リーフレット、ホームページやメルマガのほか、メディアを活用した告知・PRを行い、プレゼンス向上にも努めました。

引き続き、本活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、当月間中に開催された「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の、特別講演・基調講演・運転管理等の改善事例発表・デマンドサイドマネジメント表彰による講演の様子や、感謝状(盾)を贈呈いたしました企業・団体の導入事例を掲載した蓄熱情報誌「COOL&HOT 58号」を、本年11月に発刊する予定です。

全国52企業・団体への感謝状(盾)贈呈先は、以下ホームページをご参照ください。

(<https://www.hptcj.or.jp/event/tabid/2122/Default.aspx>)

主な活動

1. 全国52企業・団体への感謝状(盾)を贈呈
2. 「ヒートポンプ・蓄熱月間」の告知・PR
3. 「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の開催
4. 「ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー&施設見学(東京都千代田区)」の開催
5. 「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー(札幌)」の開催



ヒートポンプ・蓄熱月間  
感謝状贈呈先一覧に  
ついてはコチラから

第20回「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」開催報告

7月24日、国際ファッションセンタービル(東京都墨田区)において「第20回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」を開催いたしました。設備オーナーをはじめ、運転管理や設備設計者など389名(主催者除く)のご参加をいただきました。また、翌25日には「竹中工務店東京本店・竹中セントラルビルサウス」の施設見学会を実施し、34名のご参加をいただきました。

シンポジウムでは、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課長 木村 拓也氏に「省エネ法改正の概要とヒートポンプ・蓄熱システムへの期待」と題した特別講演、エナジープールジャパン株式会社 代表取締役社長兼CEO 市村 健氏に「電力安定供給とDR Readyの時代」と題した基調講演、および千葉大学大学院 准教授 林 立也氏をコーディネーターに迎えて「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割」を主題(副題:地域・都市・建物から電力需給を考える)にしたパネルディスカッションを実施しました。また、公募した「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理者等の改善事例」において優れていると認められた6件を表彰し、そのうち3件の事例発表とデマンドサイドマネジメント表彰で経済産業省資源エネルギー庁長官賞を受賞した1件の事例発表を実施しました。



改善事例発表の風景

令和5年度「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」審査結果

6月5日に行われました「ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例」の審査委員会にて、令和5年度の各賞が決まりました。本表彰は、ヒートポンプ・蓄熱システムの運転管理に携わる方々への更なる啓発を促すとともに、省エネルギー、環境性、経済性に資する電気需給最適化の一層の推進を目的にしています。受賞結果は次のとおりです。

<優秀賞>

No	建物・施設名	改善事例名	申請者・設備オーナー	
1	味の素冷凍食品株式会社九州工場	ヒートポンプによるボイラー給水加温	申請者	MDI株式会社
			設備オーナー	味の素冷凍食品株式会社九州工場
2	テラスモール松戸	氷蓄熱システムの運用改善による負荷平準効果の拡大と運転効率の向上	申請者	日本ファシリティ・ソリューション株式会社
			設備オーナー	住友商事株式会社
3	株式会社NHD farm	生乳の廃熱を回収する自然冷媒型ヒートポンプ給湯システムの導入及び運用改善	申請者	合同会社ほっかいどう新エネルギー事業組合
			設備オーナー	株式会社NHD farm

<優秀賞>

No	建物・施設名	改善事例名	申請者・設備オーナー	
1	今西しめじ	除湿しない冷却システムによる大幅な省エネ効果の向上	申請者	四国電力株式会社/株式会社前川製作所
			設備オーナー	今西 平
2	ココヨ品川オフィス(THE CAMPUS)南館	水蓄熱式空調システムの運用改善によるライブオフィスへの効果	申請者	東京電力エナジーパートナー株式会社 東洋熱工業株式会社
			設備オーナー	ココヨ株式会社
3	銀座5・6丁目地区熱供給センター	INVターボ冷凍機冷水流量固定化による効率向上	申請者	東京都サービス株式会社 ファシリティマネジメント本部第1セクター
			設備オーナー	東京都サービス株式会社 ファシリティマネジメント本部

(<https://www.hptcj.or.jp/index/event/tabid/1986/Default.aspx>)

## 「ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー&施設見学会」開催報告

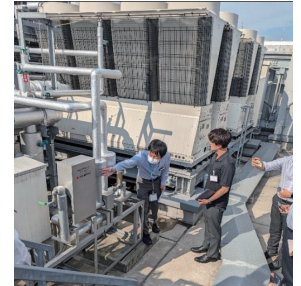
7月12日、東京都千代田区の新菱冷熱工業株式会社 新菱神城ビルにおいて、セミナー・施設見学会を開催し、設備・建設関係、設計事務所、メーカーなど19名にご参加いただきました。セミナーでは、当センターから「ヒートポンプ・蓄熱システムの至近の動向」、「カーボンニュートラルに向けた電化推進施策」、「ヒートポンプの国際事情～最新のIEAレポートより～」の説明を行い、新菱冷熱工業株式会社 坂本裕氏からは、「新菱神城ビルで開発した空調技術」についてご講演をいただきました。

施設見学会では、脱炭素技術を導入しZEB Readyを達成した設備として、ダイナミックレンジ放射空調システムや変風量コアンダ空調システムなど自然エネルギーの徹底利用する取り組み・技術などご紹介いただきました。

参加者からは、「省エネルギー技術や脱炭素の取り組みについて勉強になった」との声をいただきました。



セミナー風景



見学会風景

## 令和5年度「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」開催報告

7月より令和5年度「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」を開催いたしました(全国10会場で開催)。

エネルギー費用の高騰や再生可能エネルギーの活用方法、省エネ法の改正など、さまざまな情勢変化に伴い、各会場とも受講希望の方が多く盛況なセミナーとなりました。

参加された方々からは「大変参考になった」「これからの運用に反映していく」「省エネルギー対策の手法が分かり大変有意義なセミナーであった」などの声をいただいております。

今後も、ヒートポンプ・蓄熱システムの理解と技術能力向上にお役に立てるような企画やセミナー運営を行っていきます。

### ■ 電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー (CPD対象)

改正省エネ法施行に伴い、今年度からセミナーの名称「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」に改め開催します。有識者をはじめ第一線で活躍される方々を講師陣に迎え、最新技術や事例を紹介することで、省エネに優れたヒートポンプ・蓄熱システムや電気の需要の最適化に対する理解促進、設備技術者の技術力向上を図っています。

詳細や参加申し込み等については、ホームページをご覧ください。(https://www.hptcj.or.jp/index/event/tabid/2107/Default.aspx)

開催都市	開催日	会場	基調講演	
			講師	タイトル
札幌	7/7	北海道経済センター	大阪大学 招聘教授 西村 陽 氏	GX推進下のヒートポンプ利用の価値再発見
福岡	8/4	電気ビル共創館	早稲田大学 教授 石井 英雄 氏	再生可能エネルギー主力電源化が求める需要との連携
広島	8/25	TKPガーデンシティ 広島駅前大橋	株式会社 日建設計総合研究所 執行役員 湯澤 秀樹 氏	脱炭素社会実現に向けたエネルギーマネジメント



セミナー風景

## 令和5年度「蓄熱技術研修会」開催報告

今年度は6コース7回の開催を予定している「蓄熱技術研修会」のうち、初級コース3回を東京会場・大阪会場にて開催いたしました。

開催したコースは、7月13日に水蓄熱・初級コース、7月31日に氷蓄熱・初級コース(東京会場)、8月22日に氷蓄熱・初級コース(大阪会場)であり、会場29名、オンライン39名の方々にご参加いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大に留意、遠方の方々、ご多忙な方々に向けてオンライン・会場の併用開催とすることで、多数の方々にご参加いただいております。

蓄熱技術研修会は、当センターで発行している技術基準類(マニュアル、プログラム)をテキストとして、空調設備に従事されている技術者(設計者・施工者・運転管理者)を主な対象として開催しています。

基礎から応用までの幅広いコース設定で開催しておりますが、7月・8月開催の初級コースは学生の方を含めた、蓄熱技術にはじめて関わる方を主な対象としています。

開催済の初級コース参加者からは「解説用スライドがあり、問題の説明・解説方法があり分かりやすかった」、「演習を行うことで座学の内容について理解を深められた」との声をいただきました。



講義風景  
(7月13日 水蓄熱・初級コース(東京))



講義風景  
(8月22日 氷蓄熱・初級コース(大阪))



## 各種セミナー・技術研修会の開催について

ヒートポンプ・蓄熱システムの技術者の技術能力向上と国民の理解促進を目的に、セミナー・研修会の開催を予定しています。

詳細や参加申し込みなどについては、ホームページをご覧ください。

### ■ 電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー (CPD対象)

有識者をはじめ第一線で活躍される方々を講師に迎え、最新技術や事例を紹介することで、電気需要最適化と省エネ性に優れたヒートポンプ・蓄熱システムに対する理解促進、技術者の能力向上を図っています。

また東京開催については、会場聴講とWEB聴講を併用したハイブリッド方式による開催を予定しております。

WEBであれば全国どこからでも受講可能ですので、是非ホームページからお申し込みください。

### ■ 電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー<9月から12月開催分> (CPD対象)

改正省エネ法施行に伴い、今年度からセミナーの名称「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」に改め開催します。有識者をはじめ第一線で活躍される方々を講師陣に迎え、最新技術や事例を紹介することで、省エネに優れたヒートポンプ・蓄熱システムや電気の需要の最適化に対する理解促進、設備技術者の技術力向上を図っています。

詳細や参加申し込み等については、ホームページをご覧ください。

開催都市	開催日	会場	基調講演	
			講師	タイトル
福井	9/8開催済	福井県国際交流会館	東京大学 教授 赤司 泰義 氏	蓄熱システムとコミッションング
大阪	9/22開催済	グランフロント大阪 北館 タワーC	名古屋市立大学 教授 尹 奎英 氏	カーボンニュートラル実現のための脱炭素建築設備計画について
仙台	10/13(金)	ハーネル仙台	北海道大学 教授 長野 克則 氏	省エネルギー社会実現へ向けた地中熱ヒートポンプシステムの貢献とZEB/ZEHの最適制御
名古屋	10/31(火)	ウインクあいち	東京電機大学 教授 百田 真史 氏	講演タイトル未定
高知	11/10(金)	CHRES(シリーズ)	名古屋産業科学研究所 上席研究員 奥宮 正哉 氏	講演タイトル未定
東京	11/29(水)	KFC Hall&Rooms	RY環境・エネルギー設計 所長 柳原 隆司 氏	講演タイトル未定
那覇	12/15(金)	沖縄県立博物館・美術館	千葉大学 名誉教授 川瀬 貴晴 氏	講演タイトル未定

(<https://www.hptcj.or.jp/index/event/tabid/2107/Default.aspx>)

### ■ 蓄熱技術研修会 (CPD対象)

当センターにて発行している技術基準類(マニュアル、プログラム)をテキストとして、第一線でご活躍している設計者・設備技術者の方々を講師に迎えて開催しています。電気需要最適化やエネルギーの効率利用だけではなく、事業継続計画(BCP)対応や、デマンドリスポンス(DR)等に幅広く活用できる「蓄熱」を見つめなおしてみませんか。

直近で開催を予定しているコースの日程・概要は以下表の通りです。

レベル	種類	コース名/受講対象	開催都市	開催日(予定)	講義概要
中級	計画・評価	④氷蓄熱・設計コース	東京 (オンライン併用)	10月26日(木)	氷蓄熱式空調システム導入のメリットやユニット型・現場築造型の全体計画、運転管理、二次側の低温大温度差空調システムの設計留意点、並びに年間エネルギー消費量・成績係数の算出法を具体例により解説します。
	評価・運用・リニューアル	⑥水蓄熱・運用保全コース	東京	1月18日(木) 1月19日(金)	「複雑」、「困難」と思われがちな水蓄熱システムの運用管理・水質保全について実際の改善事例や不具合診断ツールを用いて解説します。また、講習翌日に、熱供給を行っている銀座5・6丁目地区熱供給センター第2プラントにて、実建物の概要説明、見学を実施致します。
		⑦蓄熱システム・リニューアルコース	東京 (オンライン併用)	2月2日(金)	蓄熱システムの更新・改修時の蓄熱システム導入検討から計画におけるチェックポイント、実施例について解説します。

(<https://www.hptcj.or.jp/index/tabid/2079/Default.aspx>)

申し込み: 各コースの詳細や申し込みは当センターのHPをご参照ください。

問い合わせ先: 蓄熱技術研修会 事務局 TEL:03-5643-2403 FAX:03-5641-4501

## 令和6年度デマンドサイドマネジメント表彰

応募受付中

令和6年度デマンドサイドマネジメント表彰の公募を、下記のとおり実施しています。電気需要最適化効果に優れた機器と総合システムを表彰するものです。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

詳細は、ホームページをご参照ください。

### (1) 応募対象

<機器部門>

- 電気需要最適化に資する機器・システム。  
(ヒートポンプ機器、蓄熱システム、制御システム等)

<総合システム部門>

- ヒートポンプ技術を活用し、電気需要最適化に資する建築事例。  
(既存設備の改善による場合を含む)  
詳細条件は、応募要領をご確認ください。

### (2) スケジュール

公募期間 令和5年9月1日(金)~11月15日(水)  
公表・表彰 令和6年6月

### (3) 表彰内容(各部門毎)

経済産業省資源エネルギー庁長官賞  
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞  
優秀賞

### (4) 応募要領、応募用紙

ヒートポンプ・蓄熱センターホームページからダウンロード、もしくは下記問合せ先までご請求ください。

国際・技術研究部 03-5643-2404



令和5年度表彰  
経済産業省資源エネルギー庁長官賞受賞案件  
「虎ノ門一丁目地区」(総合システム部門)

(<https://www.hptcj.or.jp/library/tabid/2138/Default.aspx>)

## 「第18回エレクトロヒートシンポジウム(Web配信型)」への協賛・出展について

「エレクトロヒートシンポジウム」は、電気を利用した高度な加熱/冷却技術に関する最新技術動向とエレクトロヒートに関する技術・製品を同時に情報収集できる国内唯一のイベントです。当センターは「エレクトロヒートシンポジウム」へ協賛・出展し、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大を図るためのPRを実施します。

なお、開催にあたっては、Web配信となります。

- 日間：11月1日(水)~11月30日(木)
- 主催：一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター

詳細は、ホームページをご参照ください。

(<https://www.jeh-center.org/18thEHsympo.html>)

## 海外のヒートポンプ普及状況に関する調査報告書の公表について

「海外のヒートポンプ普及状況に関する調査」を実施し、調査報告書をホームページへ公表いたしました。

### ●調査の背景

本調査は、環境・エネルギー政策において先行する欧米諸国を対象に、各国のヒートポンプ関連政策及びヒートポンプの普及状況等を整理し、国内のヒートポンプに関連するエネルギー政策や普及拡大施策のあり方を検討する基礎資料とすることを目的としております。

### ●調査報告書の概要

<調査項目> 欧米におけるヒートポンプの政策的位置づけ、ヒートポンプ市場動向、今後の見通しと課題 等

	フランス	ドイツ	イギリス	米国	日本
販売台数 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房 (AtA&amp;AtW): 38.6万台</li> <li>市場シェア: 31.7%</li> <li>給湯: 15.1万台</li> <li>市場シェア: 10.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房 (AtA&amp;AtW): 17.8万台</li> <li>市場シェア: 16.4%</li> <li>給湯: 2.4万台</li> <li>市場シェア: 1.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房 (AtA&amp;AtW): 4.3万台</li> <li>市場シェア: 2.1%</li> <li>給湯:</li> <li>市場シェア 21台: ほぼ0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖冷房 (AtA): 430万台</li> <li>市場シェア: 不明</li> <li>給湯: 10.3万台 (2020年)</li> <li>市場シェア: 1.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯 (家庭用): 58.6万台</li> <li>給湯 (業務用): 0.32万台</li> </ul>
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>AtW&amp;水熱源ヒートポンプ: 新築で24万台、既築で7万台 (2030年)</li> <li>新築戸建での普及率: 50% (2030年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>550万台~600万台 (2030年までの累積値)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年60万台 (2028年までの単年度目標)</li> </ul>	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用エコキュート: 1590万台</li> <li>業務用エコキュート: 14万台 (2030年までの累積値)</li> </ul>

出所: 各種資料に基づき作成

詳細は当センターホームページへ掲載しております調査報告書をご確認ください。

<報告書掲載先> 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター ホームページ→ニュースリリース

令和5年度「海外のヒートポンプ普及状況に関する調査報告書の公表について」

(<https://www.hptcj.or.jp/study/tabid/148/Default.aspx>)

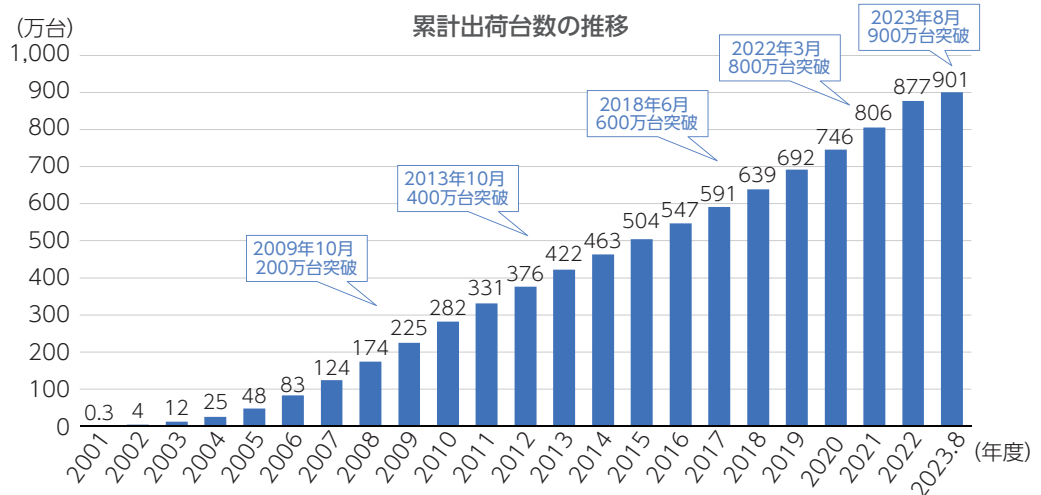
## 家庭用自然冷媒ヒートポンプ給湯機「エコキュート※」の累計出荷台数 900万台突破について

当センターは、家庭用自然冷媒ヒートポンプ給湯機「エコキュート※」の普及拡大に取り組んでおりますが、本年8月末現在の累計出荷台数(一般社団法人日本冷凍空調工業会の統計値)が900万台を突破いたしましたので、お知らせいたします。

※「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式給湯機の実用化を促進するために使用しているもので、関西電力株式会社の登録商標です。

詳細は当センターのホームページのニュースリリースをご覧ください。

(<https://www.hptcj.or.jp/index/newsrelease/tabid/2153/Default.aspx>)



### 編集後記

暑く長い夏がやっと終わり、ようやく秋めいた気候になってきました。今年の夏も、記録的な猛暑や豪雨、水害に見舞われた地域も多く、

困難に見舞われた方に改めましてお見舞いを申し上げます。また、日本だけでなく、世界規模でも異常気象を強く感じる夏でした。このような環境や社会情勢を踏まえ、エネルギー需給と脱炭素化への関心は、さらに高まるばかりです。

当ヒートポンプ・蓄熱センターでは、「蓄える」という視点で、エネルギーの明日を考えています。より良い未来のために、ヒートポンプ・蓄熱システムを通じて省エネルギーと環境保全、脱炭素社会の実現に今後とも貢献していきますので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。(山田)

### hp ニュース・レター Newsletter

HPTCJニュースレター第113号(第27巻第3号)

発行日: 令和5年10月1日

発行: 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5  
ヒューリック蛸殻町ビル6階

TEL 03-5643-2401 FAX 03-5641-4501

<https://www.hptcj.or.jp>

©HPTCJ 本誌の内容を無断で複写・複製・転載することを禁じます。